

# 連隊長要望事項

## 「情熱と執念」



# 霞城

## 昇龍一丸



### 「連隊年始行事及び令和8年連隊訓練始め」を実施



第3中隊



連隊長訓示



新年最初の自衛隊体操を実施



連隊本部



本部管理中隊



第1中隊



新年の抱負を述べる第2中隊長石井1尉



決意表明 重迫撃砲中隊佐藤3曹



第2中隊



第4中隊



重迫撃砲中隊

1月13日(火)、神町駐屯地内において「連隊年始行事」及び「令和8年連隊訓練始め」を実施した。連隊年始行事では、各中隊を代表して年男・年女が今年の決意表明をしたほか、各中隊長が抱負を述べた。引き続き訓練始めにおいて駆け足を実施し、厳しい寒さの中、連隊長、各中隊長を先頭に約2kmを駆け抜け、今年1年を澆刺とスタートさせた。訓練始めを終えた隊員たちは、すがすがしい表情で年の始まりを実感し、つつ新たな1年における飛躍を誓った。

### 「令和7年度駐屯地二十歳のつどい」に参加



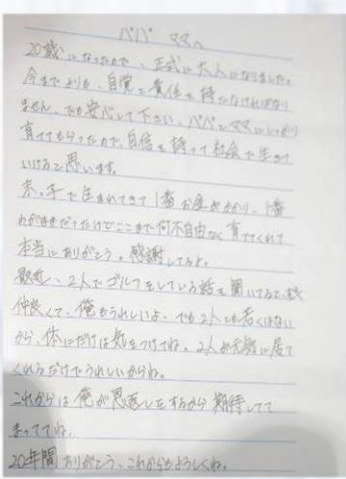
厳正な表情で式に臨む隊員



先輩隊員を代表し激励の言葉を述べた第1中隊 志田3曹



インタビューを受ける第1中隊 久保田士長



家族への感謝の手紙



20連隊で記念撮影



隊員が自ら作成した盃



緊急輸送訓練



訓練に参加した第2中隊



握手を交わす両統裁官

### 「令和7年度山形県警察との共同訓練」を実施

第20普通科連隊(連隊長南條1佐)は12月23日(火)、神町駐屯地内において山形県警察との共同訓練が行われ、山形県警から統裁官、警備部長、板垣警視正以下約40名を迎え、自衛隊側から統裁官として連隊長(南條1佐)、訓練部隊として第2中隊(中隊長 石井1尉)が参加した。訓練は、20連隊と山形県警察との緊密な連携と共同対処能力の向上を図ることを目的として行われ、治安出動下における警察車両の先導による緊急輸送、検問、共同調整所運営要領を演練した。訓練終了後の研究会では、各状況を振り返り、自衛隊・警察との連携、成果及び教訓について認識を共有するとともに相互に意見を交換し、相互に運用の実効性向上を図った。

1月16日(金)、神町駐屯地体育館において「令和7年度駐屯地二十歳のつどい」が実施され、参加した20連隊の20歳を迎えた隊員15名が家族や上司・同僚への感謝を胸に国を守る決意を新たにしました。執行者(駐屯地司令 貴島陸将補)は式辞において「この機会に具体的な目標を確立し、失敗を恐れず挑戦してほしい」と述べたほか、先輩隊員を代表し、第1中隊長 志田3曹が20歳を迎えた隊員へ向けて激励の言葉を贈った。会場には二十歳を迎えた隊員が作成した抱負の刻まれた「盃」と、「家族への手紙」が展示されており、お越しいただいた御家族にご覧いただき、一緒に記念撮影する等有意義な時間を過ごしていった。式終了後に取材を受けた第1中隊長 久保田士長は「人に信頼され、自然と手を差し伸べられる大人になりたい」と述べ、国防を担う責任感に満ちていた。

# 「FIS女子スキージャンプワールドカップ2026歳王大会」を支援



入山式の様子



斜面整備



気象計測



斜面整備



大会当日の様子



飛距離判定



コースの維持

## 大会の円滑な運営に寄与

1月14日(水)から22日(木)までの間、アリオンテック蔵王ジャンプ台(山形市蔵王ジャンプ台)において開催された「FIS女子スキージャンプワールドカップ2026歳王大会」を支援した。

本支援は、担任官 第2中隊長 石井1尉(支援隊長 三澤曹長)以下37名が参加し、競技会場及びコースの整備・維持、飛距離判定、応急救護、気象計測等々と多岐に渡る支援を実施した。

支援隊は14日に現地入りし、準備から大会当日まで大会役員と綿密に調整して、順調に作業を進めた。特に急斜面での作業を行う際は、互いに声を掛け合いながら安全管理と選手の最高のパフォーマンス発揮を最優先に、確実に作業を進めていた。

支援隊は、急変する山の天候に対応しつつ、献身的な支援を行い、大会の安全かつ円滑な運営に寄与した。

## 各種表彰

【東北方面総監より褒賞状】  
(東北方面混成団第25期陸曹中級課程において成績優秀)

- ・本部管理中隊 2等陸曹 渡部 拓人

【第2陸曹教育隊長より褒賞状を授与】  
(第25期陸曹中級課程において成績優秀)

- ・第4中隊 2等陸曹 村山 弦士

【第2陸曹教育隊上曹陸曹教育中隊長より褒賞状】  
(第25期陸曹中級課程において成績優秀)

- ・第4中隊 2等陸曹 佐藤 龍治

【第44普通科連隊長より褒賞状】  
(第14期師団部隊格闘指導官養成教育において成績優秀)

- ・第4中隊 3等陸曹 布施 翔也

【令和7年度第21回東北自衛隊拳法選手権大会】  
団体戦の部 優勝 ※14連覇達成!

個人戦の部

- 無差別級 優勝
- ・重迫撃砲中隊 2等陸曹 千田 吉則

- 81キロ級 優勝
- ・重迫撃砲中隊 2等陸曹 秋元 謙祐

- 81キロ級 準優勝
- ・第2中隊 3等陸曹 青木 悠作

- 73キロ級 第3位
- ・本部管理中隊 3等陸曹 朽木 大輔

- 66キロ級 優勝
- ・第2中隊 3等陸曹 松木 勇

## 「第38回日本海寒鱈まつり」に支援



名物の寒鱈汁



自衛隊ブースの様子

1月18日(日)、鶴岡銀座通りで実施された「第38回日本海寒鱈まつり」に自衛隊山形地方協力本部が実施する広報展に重迫撃砲中隊(中隊長 山端1尉以下3名)が車両展示(高機動車)により支援した。

イベント当日は郷土料理である寒鱈汁を目当てに県内外から約2万人が訪れ会場は賑わいを見せた。自衛隊ブースでは支援した隊員たちが記念撮影の依頼に快く応じたり、寄せられた質問に対し澁刺と受け答えを行うなど、来場者との交流により、自衛隊の活動に対する理解の促進と魅力の発信を図ることができた。



来場者と会話を楽しむ隊員



高機動車を見学

## 定年退官者の紹介



令和8年1月19日付  
第3中隊  
塩谷 曹長

長年の勤務お疲れさまでした!

## WPSとは?

W...women(女性)  
S...security(平和)  
P...peace(平和)

紛争、災害等においてより脆弱な立場に置かれやすい女性、女児等が紛争、災害発生等時に特に保護すべき対象であるという考えの下、女性、女児等の保護及び救済に取り組みつつ、女性が指導的及び主体的に、紛争の予防、復興及び平和構築並びに防災、災害対応及び復興のあらゆる段階に参加することで、より持続的な平和に資することができるとの考え方

【出典】陸上自衛隊女性・平和・安全保障(WPS)推進計画について

## WPS講話を実施

1月20日(火)、B庁舎において連隊長によるWPS(別表で説明)講話が実施され、参加した隊員は自衛隊としてのWPSに対する今後の取り組み方について理解を深めた。



講話を実施する連隊長



講話に参加し、理解を深める隊員

## 2月 行事予定

- 7日(土) 8日(日)  
・第15回天童高原スノーパークフェスタ  
(デモンストレーション・装備品展示)
- 14日(土) 15日(日)  
・第55回新庄雪まつり  
(雪像作成・装備品展示・イベント支援)
- 22日(日)  
・第21回第6師団音楽まつり  
(らっば吹奏・花笠踊りに参加)